

With

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

vol.47



2022.6/1

TAKAMORI

発行所 障害者支援施設 高森荘

〒399-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1

TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812

E-mail: f0720@amber.plala.or.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏

高森荘からの情報発信 ウィズ



ある日の高森荘

パソコンレク

高森荘では月に1回利用者様を対象にパソコンレクレーションを行っています。インターネットを使用して買い物をする方法やWiiでスポーツを楽しんだりしています。最近ではボウリング大会を行い、チームに分かれ対戦をしました。自分の体の動きを考え、どうすればストライクを取れるのかを考えたりすることでどんどん上達している姿を見ると凄いと感じます。今後はボウリングだけでなく他のスポーツも楽しんでいきたいと思えます。

令和三年度 高森荘事業報告

1、コロナ対策とクラスターの発生

外出（泊）等の規制継続、面会等の中止、予防対策は感染症委員会を中心に専門家の指導を受け徹底を図る。しかし、年度末に利用者様11名が一挙に罹患、職員陽性者3名を含む集団感染となる。緊急事態として法人に職員派遣を依頼、療養と感染拡大阻止の両面で一時は深刻な状況に陥る。しかし、保健所、感染症認定看護師、高森町等のご支援により予想外に早期の終息となった。積み重ねた研修やシミュレーションの重要性を痛感、この貴重な経験を今後の糧にしていきたい。

2、行事、余暇活動について

「みんなでトランプを」の意見から、全員参加のババ抜きと神経衰弱による最弱、最強王決定戦を開催する。馴染みのあるゲームは大盛況となった。続いている「自トレ」「朝歌」「青空朝礼」は、コロナ禍の閉塞感打破と新鮮な空気、朝陽を浴びたいがきつつか

け、参加は強制しない。「朝歌」は難しい歌に挑戦、Jポップを唄ってみたいで始まり、毎週火・木曜日の朝に大合唱。

3、研修、新たな試み

新たな試みとして介護現場におけるハラスメントと意思決定支援の研修を利用者様、職員合同で複数回実施する。グループワークによって忌憚なく意見交換し互いの立場を認識する良い機会になった。

4、生産活動について

感染対策でエリアを限定、そのため作業室は通所者専用ゾーンとして、生産活動、食堂、レクの間となる。作業が立て込んでいる時期は集中し、余裕のある時はビデオ鑑賞やレク等を行った。

5、寄付（保護者）について

入所利用者のご遺族様からご本人の遺志と多額の寄付金を頂く。故人は、通所、短期入所、生活ホームの入居経験もある方で、利用者組織の代表や作業のリーダーとして活躍された方でした。

5、施設整備について

ICT向上のため、食堂、作業室等必要箇所のWiFi環境を拡大整備する。また、働き方改革や日常業務の集約・効率化を目的に、リフトや移乗用福祉機器、見守りシステム機器を追加整備する。既存の防犯カメラの監視箇所を増やし、利用者様のニーズとリスク管理を意図的に施設用として超低床ベッとも購入する。



介護機器拡充

令和3年度障害福祉分野における介護ロボット等導入支援事業補助金をいただき、簡易移乗リフトささえ手と見守りシステムaams介護セットを購入しました。今後利用者様と職員の負担軽減のため、介護機器の拡充をはかっています。

サックと研修

日々の生活支援、記録の記載、利用者様からの要望への対応。限られた時間の中で次々と鳴るコールと業務に追われる日々。そんな中でも職員への負担が少なく出来る研修は無い。そう考えて出来たのがこのサックと研修でした。

この研修は「3分程度で読み終わる内容である事」「専門職でない方が見ても理解できること」この2つを意識しながら、高森荘で働く上で必要な情報や要点を発信していく研修です。ある時は利用者様の基礎疾患について。またある時は施設の基本方針の深掘りを。ジャンルにとらわれず、サックと理解できる内容を職場内研修の1つとして定期的に発信しています。

令和三年度 苦情解決の結果

職員の接遇に関するもの	1件
利用者のトラブルに関するもの	1件
合計	2件

口腔ケア研修会



平成元年に8020運動が提唱され、34年が経過しました。現在ではそれを達成している高齢者が数多くいます。永久歯が生えそろうと全部で何本かご存知ですか？智歯を抜いて28本です。80歳までに8本以上の歯を失うことなぐケアしていくことが目標です。高森荘では職員の意識の向上のため、毎月歯科衛生士さんより研修を受けています。口腔ケアは日々の賜です。お酒、タバコは控え、正しく歯を磨きましょう。

忘年会



12月に入り、高森荘恒例の利用者様忘年会を開催しました。昨年に続き、感染症対策を講じた上での開催でしたが、利用者様、職員有志の圧

巻のパフォーマンスで大いに盛り上がりました。また今回は松川七相神社酒井宮司様をお招きして、「大祓式」を会に先立ち執り行いました。福引や運試しも楽しみ、エンディングは一年の行事や利用者様の表情をスライドに、「これで今年の厄払いと来年の開運間違いなし!」と感じたひと時を過ごせました。

節分

2月2日、今年も高森荘に怖い鬼がやってきました。

コロナの影響で、入所と通所の利用者様を別々に行い、そして、残念ながら今年も地域の方との交流もできませんでした。

今年の年男・年女は利用者様7名、職員5名でした。

みんなで協力し、鬼にボールを投げ、無事に高森荘から鬼を追い払うことができました。昼食には、イワシや赤飯をみんなで美味しくいただきました。



地域の方より



昨年に引き続き、地域の方より手作りのおやすをいただきました。

ほかにも、野菜や花を届けてくださる方もいらつしやいます。

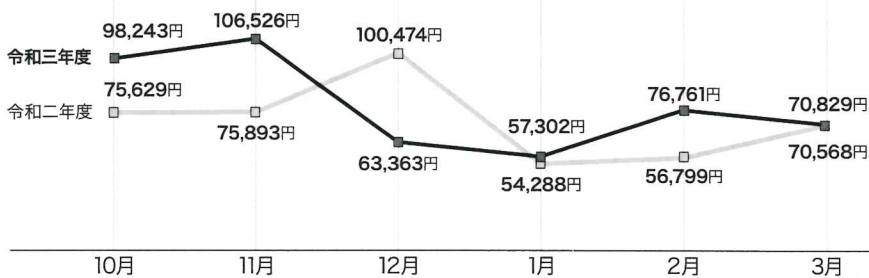
コロナ禍にも関わらず変わらずお気遣いいただき感謝しております。

生産活動

コロナ禍による環境制限はまだ残り、各企業様からの受注もコントロールしながらの活動となりました。

生産活動も利用者様の体調を見ながら作業に集中していただく日と、余裕のある日は映画鑑賞などの時間を設け楽しんでいただけたと思います。

生産活動の現状報告 (下半期) ~前年度との比較~ 作業収入



2021年12月～2022年5月行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。



忘年会



12/22 忘年会

12/28 門松作り



節分豆まき

2/2 節分豆まき

2/9・17 水害移送訓練



水害移送訓練

3/7 春期 火災避難訓練

4/1 開園記念日



春期 火災避難訓練



編集後記

前年度から新年度にかけて高森荘では新型コロナウイルスのクラスターが起こってしまいました。とても残念なことでしたが、幸いにも重症化して命にかかわる方が出ることなく終息を迎えることが出来ました。

職員はこれからも感染予防について研修を続けること、利用者様は日々の生活について感染予防に紐づけた生活様式を模索し、二度と感染症を拡げないように取り組んでいきたいと考えています。



実習・研修の受け入れ
 11月24日～12月8日
 飯田女子短期大学
 介護実習 2名